

平成 27・28 年度 土木学会複合構造委員会 第 12 回幹事会議事録

日 時：平成 29 年 3 月 11 日（土）9:00～12:00

場 所：くまもと県民交流館パレア 会議室 3

出席者：奥井委員長，西崎副委員長，滝本幹事長，~~池田幹事~~，大久保幹事，葛西幹事，~~斎藤(成)幹事~~，齋藤(隆)幹事，~~下村幹事~~，平幹事，中村幹事，~~広瀬幹事~~，~~牧幹事~~，~~松本幹事~~，溝江幹事，~~久米村事務局~~

配布資料：

- 資料 幹12-0 平成27・28年度第12回複合構造委員会幹事会議事次第
- 資料 幹12-1 平成27・28年度第11回複合構造委員会幹事会議事録（案）
- 資料 幹12-2 平成28年度の予算執行状況
- 資料 幹12-3 論文集A1特集号：複合構造
- 資料 幹12-4 土木学会論文集 A1 特集号 「推薦」および「審査」の分離について
- 資料 幹12-5 平成29年度重点研究課題 提出資料
- 資料 幹12-6 平成29年度全国大会研究討論会（提出資料）
- 資料 幹12-7 出版関連報告
- 資料 幹12-8-4 H150各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会
- 資料 幹12-8-5 H212複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会
- 資料 幹12-8-6 H213構造物の更新・改築技術研究小委員会
- 資料 幹12-8-9 H216複合構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 資料 幹12-9 橋梁技術温故知新セミナー企画案

議事内容：

0. 委員長挨拶

奥井委員長より，幹事会開催にあたり挨拶があった。

1. 第11回幹事会議事録案の確認（資料 幹12-1）

滝本幹事長事より，資料に沿って説明があり，以下を修正した上で承認することとした。

- ・ 8. 新設小委員会（FRP）の設置，H217委員募集 「2月に会告」→「2月に会告原稿」

なお，第4回委員会の議事録（案）が委員に送信されていないと委員から指摘あった。第11回幹事会議事録に記載の事項を修正の上，齋藤（隆）幹事より委員に第4回委員会議事録（案）を送付する。

2. 平成28年度の予算執行状況（資料 幹12-2）

滝本幹事長より，資料に沿って説明があり，下記について確認した。

- ・ H103で学生のアルバイト代が発生する。
- ・ H106で書籍代5万円程度が発生する。
- ・ 予算は最終的に余る見込みである。そのため，
 - ①3月に実施する小委員会があれば旅費にあてることを検討する（西崎副委員長）。
 - ②新規に立ち上がるCFT委員会で土木学会の本を資料として購入してはどうか（鬼頭委員長に平幹事から確認）

3. 土木学会論文集A1特集号：複合構造（資料 幹12-3）

葛西幹事より、資料に沿って説明があり、下記について確認した。

- ・校正費用は来年度予算で処理する予定である。
- ・来年度、新規委員として関西大学石川先生に加わっていただくことを考えている。
- ・常設小委員会の小委員長、委員、幹事は委員長が指名し、親委員会の承認が必要となるので、5月の幹事会の時点で新しい体制を報告する。
- ・論文集に掲載されるH213の小委員会報告は、講習会の実施前に出版される。そのため、論文集の小委員会報告はそれを考慮した内容とする。

4. 第12回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム 推薦と審査の分離について（資料 幹12-4）
大久保幹事より、資料に沿って説明があり、以下の議論がなされた。

- ・編集小委員会は論文の採択を決める立場であり、シンポジウム小委員会は推薦という形で投稿を促す立場である。
- ・シンポジウム小委員会の構成を、シンポジウム実行WGと論文推薦WGの2つのWG制にすることを考えている。
- ・委員の構成について、編集小委員会の任期は4年であり、これを経験した後にシンポジウム小委員会の論文推薦WGへという流れとしてはどうか。
- ・委員長、幹事長が両WGにどのように関わるか（両WGに属するのか）は検討中である。
- ・今回の提案は、2017年度から実施するものである。まだ決定していない事項もあり、引き続きシンポジウム小委員会で議論し、次回の幹事会で委員の追加を報告、審議いただく。
- ・委員構成は、6月の親委員会で承認いただくこととし、各委員がどちらのWGに属するかは小委員会で決めればよい（承認は不要）。
- ・登載可否を判断する論文が、推薦されたものであるか自薦によるものであるかは、編集小委員会幹事にシンポジウム小委員会から情報として伝える。
- ・ここで対象とする論文は土木分野としてエントリーした原稿のみである。

5. 平成29年度重点研究課題（資料 幹12-5）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があり、以下のとおり確認した。

- ・代表研究者は奥井先生、その他、研究体制、研究の内容を確認
- ・応募締切りは過ぎており、提出済みである。

6. 平成29年度全国大会研究討論会（資料 幹12-6）

溝江幹事より、資料に沿って説明があり、以下のとおり確認した。

- ・昨日提出済みである。
- ・話題提供者が5~6名くらいと若干多い予定。
- ・6月がDVDの締切り。それまでにパネラーが決定するように進める。また、パネラー候補は、他の討論会からも声がかかる可能性があるので人選は早めに動くように。
- ・トンネル、上下水道、港湾関係として岩波先生を候補としてはいかがか。
- ・水の被害であるが、津波は対象としない。
- ・H214でひきつづき対応をお願いします。

7. 出版関係（資料 幹12-7）

大久保幹事より、資料に沿って説明があった。

- ・絶版図書のPDFを委員会HPで公表する場合、著作権法上、公表の手続きが必要である。

8. 小委員会報告審議事項

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会

西崎副委員長より、次回の委員会は秋ごろの予定との説明があった。

(2) H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会

葛西幹事より、来年度の出版に合わせて原稿を作成中と説明があった。大幅に遅れるようだと出版委員会に報告の必要あるため、大山委員長にスケジュールを確認する。

(3) H106 FRPによる構造物の補修・補強指針作成小委員会

中村幹事より、説明があった。

- ・1/25に第3回委員会を実施。来年度の進め方については、3/31に幹事会を実施し、来年度の内容を議論する予定である。
- ・これまで実施してきたWGは一旦終了し、来年度はWG内容を組み替えて議論する予定である。
- ・来年度の3月末に指針（案）を作成する予定である。

(4) H150 各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会（資料 幹12-8-4）

平幹事より、説明があった。次回委員会を4月下旬に開催予定である。本委員会は講習会を行わず、成果は複合構造委員会へ報告書を提出するものとする。8月中旬に最終委員会を行った後、概ね2か月程度で報告書を幹事会に提出する。

- ・12月の親委員会で委員会の終了報告を行うこと。
- ・論文集の特集号での委員会報告も検討のこと。ただし、委員会での実施内容を論文投稿する予定なので、既発表とならないよう論文の発表時期・内容を考慮の上、特集号での委員会報告を行う。

(5) H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会（資料 幹12-8-5）

葛西幹事より、説明があった。11月末に講習会を実施予定である。

- ・12月の親委員会で委員会の終了報告を行うこと。

(6) H213 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会（資料 幹12-8-6）

滝本幹事長より、説明があった。原稿の作成は終了し、現在、幹事3名に通読依頼中である。3月末脱稿。7/21に講習会実施予定であり、1期で終了。

- ・通読の結果出てくる修正事項の対応については小委員会に委ねられるので、結果を幹事会に報告する必要はない。
- ・6月の親委員会で委員会の終了報告を行うこと。講習会実施後が望ましいが、12月の親委員会では他にも報告事案があるので本委員会の報告は6月に実施する。

(7) H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会

溝江幹事より、説明があった。

- ・委員会の活動として、以前、トリプルコンタクトを対象に促進試験を実施したが結果がよくわからなかったため、沖縄で暴露試験を実施予定である。
- ・委員会を延長予定である。延長にあたり、複合構造委員会運営細則に従い小委員長が幹事会においてその理由および今後の活動内容を説明すること。本委員会の第1回を8月に実施しているので、2期目について7月か9月の幹事会で報告のこと。

(8) H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会

滝本幹事長より、説明があった。4/19に全体委員会を大阪で開催予定である。

(9) H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会（資料 幹12-8-9）

滝本幹事長より、説明があった。2月24日に第3回委員会を開催し、話題提供により委員間の共通認識を固めているところである。

(10) 新設小委員会（CFT部材の活用）の設置

平幹事より、現状での委員について説明があった。自薦や委員長からの声掛けを含み13名となっている。

11. 橋梁技術温故知新セミナー企画案（資料 幹12-9）

奥井委員長より、資料に沿って説明があった。

- ・本企画は、鋼構造委員会で了解済みである。
- ・費用は会費で賄うので委員会予算は不要である。
- ・東京だけでなく、大阪開催もよいのでは。
- ・講演者として、依田先生のほかに、野上先生、中島先生、杉浦先生を検討する。
- ・場所の候補としては、土木学会、早稲田大学など考えられる。

12. その他

現体制での最後の幹事会であり、奥井委員長と滝本幹事長から挨拶があった。

以 上

(記録・文責：平)